

平成24年度
北秋田市教育委員会
点検・評価報告書

平成25年8月
北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、平成24年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

北秋田市教育委員会委員名簿

（平成25年3月31日現在）

職名	氏名
委員長	加賀隆寛
委員長職務代理者	佐藤正俊
委員	藤原高司
委員	吉田美樹
委員兼教育長	三澤仁

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価

点検及び評価の対象年度 平成24年度

構成内容

- 1 教育委員会議の開催状況
- 2 教育委員会議での審議状況
 - 平成24年度 教育委員の会審議案件一覧
 - （1）平成24年度 教育委員の会議案案件
 - （2）平成24年度 教育委員の会その他案件
- 3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】
- 4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

1 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員の会定例会」と状況に応じた「教育委員の会臨時会」を開催している。平成24年度は、合計で14回開催した。

- (1) 教育委員の会定例会・・・12回
- (2) 教育委員の会臨時会・・・2回

2 教育委員会議での審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成24年度は、合計で32件について審議した。

平成24年度 教育委員の会審議案件一覧

(1) 平成24年度 教育委員の会議案案件

議案番号	件名	提出日
11	北秋田市立学校職員旧姓使用取扱要綱の制定について	4月26日
12	北秋田市奨学資金貸付審査会委員の任命について	4月26日
13	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	4月26日
14	北秋田市教育委員会教育委員長の選挙について	5月14日
15	北秋田市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	5月14日
16	北秋田市教員住宅条例の一部を改正する条例の制定について	5月31日
17	専決処分の報告について（合川中学校マイクロバス車庫屋根からの落雪事故について和解をし、損害賠償の額を定めることについて）	5月31日
18	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	5月31日
19	北秋田市スポーツ推進審議会委員の任命について	6月29日
20	専決処分の報告について（北秋田市中央公民館外壁モルタル剥離による落下事故について和解をし、損害賠償の額を定めることについて）	8月30日
21	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	8月30日
22	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	8月30日
23	北秋田市立小中学校の県費負担教職員の出張に係る交通手段等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について	9月27日
24	北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	11月29日

議案番号	件名	提出日
25	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	12月27日
1	北秋田市立小中学校条例及び北秋田市立小中学校給食調理場条例の一部を改正する条例の制定について	1月31日
2	北秋田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	1月31日
3	北秋田市立小中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	1月31日
4	北秋田市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	1月31日
5	北秋田市立小中学校給食調理場条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	1月31日
6	財産の取得について	1月31日
7	北秋田市図書館協議会委員の任命について	2月28日
8	北秋田市浜辺の歌音楽館運営審議会委員の委嘱について	2月28日
9	北秋田市文化会館運営委員会委員の委嘱について	2月28日
10	北秋田市文化財保護審議会委員の委嘱について	2月28日
11	県費負担教職員の内申について	3月5日
12	北秋田市公民館管理規則の一部を改正する規則の制定について	3月21日
13	北秋田市社会教育委員の委嘱について	3月21日
14	北秋田市公民館運営審議会委員の委嘱について	3月21日
15	北秋田市生涯学習奨励員の委嘱について	3月21日
16	北秋田市スポーツ推進審議会委員の任命について	3月21日
17	北秋田市スポーツ推進委員の委嘱について	3月21日

※ 議案番号は、暦年による一連番号を付した。

(2) 平成24年度 教育委員の会その他案件

番号	件名	提出日
1	平成24年度教育委員会機構図及び各課の事務分担について	4月26日
2	小中学校の運動会日程について	4月26日
3	6月議会定例会提出補正予算について	6月29日
4	9月議会定例会提出補正予算について	9月27日
5	12月議会定例会提出補正予算について	12月27日
6	卒業（卒園）式、入学（入園）式の日程について	1月31日
7	3月議会定例会提出平成24年度補正予算（第7号）について	2月28日
8	平成25年度当初予算について	2月28日

9	平成25年度教育委員会人事異動について	3月21日
10	入学（入園）式日程について	3月21日

3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成24年度における教育委員会の当初予算は25億1,627万3千円であったが、3億170万円の増額補正となり、繰越明許費が8,193万4千円、予備費支出及び流用で411万2千円増額し、合計が29億401万9千円となっている。これは、前年度予算と比較して7億8,679万1千円、割合にして約37%増加しており、また、一般会計に占める教育費の割合は約11.7%で、前年度に比べ約3.1%増加している。教育費を個別に見ると、全体的には昨年度と比較して予算額が減少しているものの、このように歳出が増加した主な要因は、米内沢小学校校舎等建設事業及び合川小学校校舎等建設事業の影響が大きい。

平成24年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、昨年度からいくつかの事業統合が行われたが、別紙のとおり61の事業について実施した。

「有効性」については、10の事業について期待以上の成果が得られた。中でも米内沢小学校校舎等建設事業、合川小学校校舎等建設事業及び小学校校舎等内外改築事業については、現在も進行中のものもあるが、これらの事業により、一層、安心・安全な学習環境の整備が図られた。耐震化の状況については、中学校については耐震化率が100%となっており、小学校については合川小学校新校舎が完成すれば、耐震化が実施されていないのは、鷹巣西小学校のみとなる。文部科学省では、各地方公共団体に対して、平成27年度までのできるだけ早い時期に、全ての施設の耐震化完了に向けて積極的な取り組みを行うことを依頼しているが、鷹巣西小学校の耐震診断を実施すると約600万円程度の予算が想定され、耐震化の工事を実施すると更に大きな予算となるため、早急に対応方針を定める必要がある。

「費用対効果」については、7の事業について予想以上の費用対効果が得られたが、特に学校支援地域本部事業についてはボランティア支援の拡大を図りながら、学校の実情にあわせてきめ細かな支援活動を実施し、地域と学校との連携強化に大きく貢献している。しかし、現在、実施している学校が小学校5校、中学校2校の計7校で、市内学校の半分にも満たないため、これをどの様に拡げていくかが課題である。

「必要性」については、必要不可欠の事業が全事業の約2/3を占めた。文化振興事業においては、伊勢堂岱遺跡の環境整備として石の保存処理や周辺の盛り土工事を終え、平成27年度の縄文遺跡群世界遺産登録に向け、準備を進めてきたが、平成25年8月23日に文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会と同部会世界文化遺産特別委員会が開催され、審議の結果、今回の推薦は見送られた。今後は、次の推薦までに遺産登録後の来訪者を見据え、遺跡内の保存体制やガイダンス施設及び駐車場の整備を進めながら、啓蒙周知活動を活発に行い、機運を高めていきたい。また、遠距離通学補助事業及びスクールバス運行事業については、平成27年4月、合川小学校に合川東小学校及び合川北小学校が統合となることから、更に必要性が高まると思われる。

「方向性」については、幼稚園運営事業について、少子化の影響から園児数減少に歯止めが掛からず、幼児教育の充実と効率的運営が困難になっているため、廃止を含めた検討を行ってきたが、早急に結論を出す必要がある。また、当市では平成26年度からのスポーツ少年団の社会体育化に向けた準備を進めており、児童生徒大会派遣費補助事業と北秋田市スポーツ少年団補助事業の在り方についても、学校教育課とスポーツ推進課の連携を図りながら、方向性を定めていかなければならない。

北秋田市教育委員会では、米内沢小学校校舎等建設事業は平成25年度で完了となるものの、合川小学校校舎建設事業が本格化し、放課後児童クラブや統合給食施設の建設、(仮称)北秋田市生涯学習交流施設の整備と、今後も大きな事業が見込まれている。また、平成26年度には秋田県で開催される国民文化祭や伊勢堂岱遺跡を含む縄文遺跡群世界遺産登録に向けて、当市の取り組みを、より推進する必要がある。こうした課題を抱えるなかで、報告書についてのご意見を伺いながら、北秋田市の教育の活性化に努めてまいりたい。

平成25年 8月29日

北秋田市教育委員会

4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
 費用対効果・・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
 必要性・・・・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
 方向性・・・・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

1 学校閉校記念事業・創立記念事業補助金事業			主管課	総務課	
予算現額	1,500千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	学校閉校記念事業又は10周年ごとの創立記念事業を行う際に、一定の補助を行うことにより、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>学校閉校記念事業補助金としては、平成24年度末で閉校となった浦田小学校に1,500,000円の補助を行い、記念碑の建立や記念誌の発行、閉校記念式典の一部、その他の経費に充てられ、盛大に閉校記念事業が開催された。</p> <p>創立記念事業補助金については、本年度の該当は無かった。</p> <p>随時の事業ではあるが、平成26年度末をもって合川東小学校及び合川北小学校の閉校が計画されており、本事業の有効的な活用を図りたい。</p>				

2 幼稚園就園奨励費補助金事業			主管課	総務課	
予算現額	2,048千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	幼稚園に通園させている保護者の方で一定の要件に該当する方に、授業料支払いによる経済的負担を軽減するため、所得状況に応じ授業料等の減免を行う。				
点検・評価	<p>少子化対策事業の1つとして、北秋田市内在住で市立幼稚園においては4歳児、5歳児、私立幼稚園においては満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児を通園させている方で一定の要件に該当する方に対し、本年度は19人、1,874,395円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>なお、この内1人は、東日本大震災により被災し、新たに市町村の就園奨励対象となった幼児に、就園奨励事業にかかる所要経費を補助する被災幼児就園支援事業として補助した196,200円が含まれる。</p> <p>一部、国庫補助金を充当しており、事業へのニーズも高いが、所得状況により補助額が変動するため、不況下である昨今、事業費が増加しつつある。</p>				

3 すこやか子育て支援事業			主管課	総務課	
予算現額	1,220千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	5
活動内容	社会全体で子育てを支えていくとの考えのもと、子どもの幼稚園への入園等に伴う子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、生活基盤の弱い世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>幼稚園就園奨励費補助金事業によって減免される分を除き、幼稚園に在園する幼児並びに保護者が北秋田市の住民で、保護者又は扶養者の所得が制限内である方に対し、一定の要件のなかで本年度は18人、851,830円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>一部、県補助金を充当しており、事業へのニーズも高い。平成25年度は、ひとり親家庭への補助を拡大する予定で、県の制度を利用しながら事業を継続していく。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

4 学童研修センター（リフレッシュ学園）運営事業		主管課		総務課	
予算現額	10,935千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	2	4
活動内容	人間関係の悩みやストレスを抱え、心の問題に悩む全国の子どもたちを対象に、自然体験や物作り体験など、さまざまな体験活動を通して心と体のリフレッシュを図る機会を提供する。				
点検・評価	<p>今年度は16人の小・中学生が延べ870日在園し、利用日は195日で、1日あたり4.4人が利用した。在園した中学3年生3人中2人は希望高校に入学し、元気に高校生活を送っている。また、11名が学校復帰や学校と学園を行き来できるようになっており、学園の存在意義は高い。</p> <p>本年度は、県内の在園生で占めており、祝休日や休業日は家庭で過ごすなど、経費の縮減も行った。</p> <p>北秋田市の「さわやか教室」や市内各学校との連携も図りながら、事業を展開していくことが必要である。また、一部県委託費を充当しており、平成28年度に県が同様の施設の設置を検討しており、その動向を見極めながら事業を継続する必要がある。</p>				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果　2＝期待どおりの成果　3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり　2＝予定どおりの費用対効果　3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い　2＝必要性が高い　3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止　2＝縮小　3＝統合　4＝継続　5＝拡大

5 米内沢小学校校舎等建設事業			主管課	総務課	
予算現額	776,409千円(現年)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	81,934千円(繰越明許)	2	2	3	2
活動内容	平成25年4月の米内沢小学校新校舎竣工に向け、委託及び工事等の施工により、学習活動に必要な環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>委託では、校舎建築工事監理業務委託、旧校舎解体工事設計業務委託、体育館改修工事監理業務委託、倉庫改築工事設計業務委託、樹木管理業務委託、樹木剪定業務委託、引越物品移設委託及びプール建設工事監理業務委託を行った。</p> <p>工事では、小学校校舎建築工事(平成24年度分)、太陽光発電設備工事、体育館改修工事、電話設備工事、ブラインド等設置工事、警備用機器設置工事、旧校舎警備用機器撤去工事、給食搬入口仮設工事、体育館階段室壁等補修工事、仮照明灯設置工事及びプール建設工事を実施した。</p> <p>これらにより、新校舎及びプールが完成し、安全・安心で快適な学習環境が整備され、その他平成25年度は、校舎解体工事、倉庫建設工事、外構工事等を予定しており、児童の安全を確保しながら、事業の推進を図ることが必要である。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果

費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果

必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠

方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

6 合川小学校校舎等建設事業			主管課	総務課	
予算現額	81,285千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	平成27年4月の合川小学校新校舎竣工に向け、平成25年度の工事着手のため、建物・施設等の実施設計と土地購入を行う。				
点検・評価	<p>平成23年度をもって合川西小学校、合川南小学校を廃止し、新設された合川小学校について、平成27年度に合川東小学校及び合川北小学校を統合し、新校舎を竣工することに向けて、平成24年度は建設用地造成設計業務委託、屋外教育環境施設設計業務委託及び建設工事実施設計業務委託を実施した。また、建設用地の土地購入を行った。</p> <p>平成25年度は、校舎建設工事（平成25年度分）、建設用地造成工事及び屋外教育環境施設（合川中学校野球場）整備工事を実施する予定である。</p>				

有効性・・・・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果

費用対効果・・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果

必要性・・・・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠

方向性・・・・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

7 小学校校舎等内外改修補修事業		主管課	総務課		
予算現額	22,287千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	4
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>平成24年度は、鷹巣東小学校放送設備工事、鷹巣中央小学旗ポール改修工事、綴子小学校屋根塗装工事、鷹巣南小学校ランチルーム改修工事、鷹巣小学校ルーフトレイン改修工事、阿仁合小学校校舎天井張替工事等、40件の工事を実施した。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所の数が増加しており、これでもまだ十分な対応が出来ない状況である。しかし、現状を考えると、今後ますます重要性が増してくるものと考えられる。</p> <p>なお、小学校の耐震化率は、米内沢小学校の校舎完成に伴い74.4%（昨年72.5%）となった。</p> <p>今後、平成27年度に竣工する合川小学校新校舎が完成すれば、耐震化が実施されていない小学校が鷹巣西小学校のみとなるので、早急に方向性を定める必要がある。</p>				

- 有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

8 小学校パソコン導入事業			主管課	総務課	
予算現額	(賃借料) 35,066 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	(保守料) 9,683 千円 (備品) 714 千円	2	2	3	4
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	<p>パソコンの入れ替えは、5年間のリース期間（保守契約を含む。）満了後、3年間の保守契約期間を経て8年更新で実施しており、平成24年度は鷹巣中央小学校及び鷹巣南小学校の入れ替えを行った。リース期間となっているものは、上記の2校を含む11校となっている。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。</p> <p>文部科学省では「教育の情報化ビジョン（骨子）」を示しており、学びの場の情報通信技術の活用は、今後ますます多様化することが予想されることから、新たな情報通信機器の導入並びにサポート体制の構築が課題となる。</p> <p>また、全ての小学校普通教室については、平成22年度までに国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、50インチの地上デジタルテレビが整備済みであるが、平成24年度に浦田小学校と合川小学校に電子黒板機能を整備した。平成25年度には、大阿仁小学校に電子黒板機能を整備する予定で、全ての小学校に電子黒板機能が整うことになる。</p> <p>今後は、電子黒板機能を活用した授業の展開について、取り組みを進めることが重要である。</p>				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果　2＝期待どおりの成果　3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり　2＝予定どおりの費用対効果　3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い　2＝必要性が高い　3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止　2＝縮小　3＝統合　4＝継続　5＝拡大

9 中学校校舎等内外改修補修事業		主管課	総務課		
予算現額	28,948千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	4
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>平成24年度は、鷹巣南中学校柔剣道場屋根塗装工事、合川中学校自転車置場改修工事、合川中学校体育館外壁改修工事、阿仁中学校プール解体工事、鷹巣中学校暖房機集中制御盤改修工事等、29件の工事を実施した。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所の数が増加しており、これでもまだ十分な対応が出来ない状況である。しかし、現状を考えると、今後ますます重要性が増してくるものとする。</p> <p>中学校の耐震化率は、平成22年度までに100%となっており、安全性の確保が図られている。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

10 中学校パソコン導入事業			主管課	総務課	
予算現額	(賃借料) 16,595千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	(保守料) 3,606千円	2	2	3	4
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	<p>パソコンの入れ替えは、5年間のリース期間（保守契約を含む。）満了後、3年間の保守契約期間を経て8年更新で実施しており、平成24年度は入れ替えが無かった。現在は、全ての中学校がリース期間となっている。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。</p> <p>文部科学省では「教育の情報化ビジョン（骨子）」を示しており、学びの場の情報通信技術の活用は、今後ますます多様化することが予想されることから、新たな情報通信機器の導入並びにサポート体制の構築が課題となる。</p> <p>全ての中学校普通教室については、平成22年度までに国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、50インチの地上デジタルテレビが整備済みであるが、今後、中学校の電子黒板機能の導入について検討が必要である。</p>				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果　2＝期待どおりの成果　3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり　2＝予定どおりの費用対効果　3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い　2＝必要性が高い　3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止　2＝縮小　3＝統合　4＝継続　5＝拡大

11 幼稚園運営事業		主管課	総務課		
予算現額	21,111千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	1	1	1
活動内容	北秋田市立たかのす幼稚園において、家庭との連携を図りながら、幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。				
点検・評価	<p>①豊かな心をもち、意欲的に活動する子どもの育成、②健康な心と体を育てるための環境構成を重点目標として、4歳児5人、5歳児4人の合計9人の幼児を対象に、様々な遊びをとおして健康な心と体の育成や自立心・人とかかわる力の育成、学習意欲の向上を図った。</p> <p>平成23年度からは、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成16年文部科学省令第16号）とのかい離を是正するため、授業料を月額4,500円から月額5,300円に引き上げを行っている。</p> <p>年々、園児が減少しており、平成25年度入園は無く、5月1日現在の園児数は4人となっている。今後、園児数の増える見込みも少ないため、廃止を含めた検討を行ってきたが、本年度中に結論を出す予定である。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

12 不登校児童生徒対策事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,573千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田さわやか教室に指導員1人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童生徒への支援を図る。				
点検・評価	<p>昨年度に引き続き、1人の生徒が通級した。所属校と情報交換を密にし、さわやか教室での始業式や終業式等に教職員が来室し、顔を合わせる機会を増やした。</p> <p>学校での個別指導対応や本人の学習への意欲もあり、徐々に所属校で学習する時間を増やし、無理なく本人の意欲を高めるように支援をした結果、今年度4月より学校に完全復帰した。</p> <p>児童生徒、保護者の事情に応じて支援の在り方を工夫し、きめ細かな対応の充実を図っていきたい。</p>				

13 教育センター事業			主管課	学校教育課	
予算現額	7,004千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市の教育に関する調査・研究、教育関係者の研修を行い、教育の振興を図る。また、北秋田市の学校教育の基本理念の具現化を目指す。				
点検・評価	<p>児童生徒一人一人に「自ら学び自ら考える力」、「これからの社会を主体的、創造的にたくましく生きる力」を身に付けさせるための研修を推進した。</p> <p>各校のミドルリーダーとして活躍する教務主任・研究主任・生徒指導主事などが目の前の子どもたちを見つめ、課題を見だし、充実した研修が行われることから活力ある学校づくりを支援している。</p> <p>また、授業研究会や学力向上対策の協議から「分かる・できる・魅力ある授業実践」に取り組み、言語活動の充実を意識した授業改善を推進するために支援している。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

14 学校生活サポート事業			主管課	学校教育課	
予算現額	32,681千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している学校に対し、支援員を配置し、学校生活全般にわたって対象児童生徒及び学級担任の支援を行う。				
点検・評価	<p>平成24年度は、障害児支援において24人（15校）の支援員を配置し、生活支援や学習支援等を行った。</p> <p>対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒や学級担任にとっても大きな成果となっている。</p> <p>今後は、児童生徒の自立に向けた支援方法、進路指導の在り方についての研修の充実を図っていく必要がある。</p>				

15 小学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	2,744千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	各小学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

16 中学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,940千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	各中学校において教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
 費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
 必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
 方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

17 要保護及び準要保護児童生徒援助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	23,759千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	経済的に困難な保護者に対し、学用品費等・医療費・学校給食費を援助することで児童生徒の就学を支援する。				
点検・評価	平成24年度は要保護認定者20人、準要保護認定者267人、特別支援認定者20人の児童生徒の保護者に対して区分に応じて援助を行った。 児童生徒数が減少している中、様々な理由により事業への申請率は年々増加しており、事業の継続が強く求められている。				

18 遠距離通学補助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	4,703千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関を利用する児童生徒に運賃相当額を補助する。				
点検・評価	学校生活時間に合う利用可能な時間帯で運行している路線バスを使って、55人（小3校、中3校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後も継続が必要な事業である。				

19 スクールバス運行事業			主管課	学校教育課	
予算現額	41,829千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行することで、児童生徒の円滑な就学と安全・安心の確保に資する。				
点検・評価	直営スクールバス10台、委託バス2台、委託スクールタクシー2台により、284人（小9校、中5校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから今後も必要な事業であるが、直営バスの運転手の確保など、運行に係る諸問題も多く抱えている事業でもある。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

20 児童生徒大会派遣費補助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	11,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>全県大会以上の大会に出場する児童生徒・引率者に、交通費、宿泊費及び参加料を補助し、児童生徒の知育・体育・徳育の伸長と健全育成を図る。</p>				
点検・評価	<p>上位大会出場という目標を持って市内の児童生徒、学校の教職員は活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効と思われる。</p> <p>なお、平成26年度からのスポーツ少年団への移行により、補助対象等の再検討が必要と思われる。</p>				

21 ふるさと学習推進事業			主管課	学校教育課	
予算現額	950千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	<p>総合的な学習の時間、生活科、学校行事等において各校では様々な体験活動が行われており、本補助事業も活用しながら特色ある教育活動が展開されている。</p>				
点検・評価	<p>様々な体験活動をとおして社会性の向上、自己有用感の向上などが求められており、本事業の継続は必要である。</p>				

22 外国青年招致事業			主管課	学校教育課	
予算現額	19,641千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	5
活動内容	<p>A L Tを5人配置し、小学校における外国語活動及び中学校における英語教育と国際理解教育の充実に資する。</p>				
点検・評価	<p>平成23年度から小学校において外国語活動が本格的に導入することを受け、市内の全小学校では平成21年度から先行実施が行われている。各中学校区に1人のA L T配置により大きな成果が見られ、この体制での事業の継続が望まれる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

23 学校保健事業			主管課	学校教育課	
予算現額	17,067千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	健康診断の実施により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に結びつける。				
点検・評価	各校において健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業の継続は必要である。				

24 フッ素洗口事業			主管課	学校教育課	
予算現額	459千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	市内全小・中学校において希望者を対象としてフッ素洗口を実施する。				
点検・評価	<p>学校保健統計調査によると、本県の子どもたちの虫歯の本数が全国平均を大きく上回るなど、歯の健康は決して好ましい状況にはない。</p> <p>フッ素洗口は、週に1回程度の実施でも長期にわたって継続することで虫歯予防に大きな成果が現れると言われており、本市においても希望者を対象に事業を展開している。まだ希望していない児童生徒も少数いるが、各学校において事業の趣旨や成果を周知することで、近い将来全ての児童生徒が実施し、虫歯予防に役立てるよう事業を展開したい</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

25 青少年育成事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	640千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>青少年の非行防止、地域環境浄化活動、声かけ運動、森林環境の保護学習等の小学生による社会貢献活動や子どもによる伝承芸能発表会など、青少年育成北秋田市民会議の育成事業の支援や、各青少年健全育成団体及び関係機関等による北秋田市青少年問題協議会を開催し、各活動の連携に努める。</p>				
点検・評価	<p>青少年の健全育成を推進するため、各団体が地域の環境浄化や青少年の非行防止活動に取り組み効果を上げている。</p> <p>また、北秋田市青少年問題協議会では、秋田北鷹高校を会場に秋田看護福祉大学の協力を得て、高校生達が「交際相手からの暴力」について学んだ。</p> <p>共通の課題解決に向けて、情報を共有し青少年問題を地域全体で考える機会となった。</p>				

26 少子化対策・子育て支援事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,769千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>幼・保・小学校等を対象とした子育て支援事業として、「家庭教育講座」実施の支援及び、北秋田市子ども会育成連合会の活動を支援する。</p>				
点検・評価	<p>幼・保で8講座、小学校で10講座、子育て講演会で1講座の計19の「家庭教育講座」の実施の支援をした。親、祖父母や園児・児童、教職員を対象に、それぞれの園や学校で親子のふれあい、命の授業、絵本の大切さ、情操教育等のほか、各課題に沿った内容で講座を開催した。</p> <p>幼保、小学校と一貫した講座開設事業を継続しているが、より一層「家庭教育」の重要性を認識しており、中学校での講座開設の検討も必要となる。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会では、子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進しながら、地域で子どもを育てる活動を推進している。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

27 放課後子ども教室推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	4,952千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	3
活動内容	小学生を対象に、放課後の安全・安心な子どもの活動場所の確保と、地域での様々な体験活動により、子どもたちの豊かな人間形成を目指す。				
点検・評価	全児童を対象に、市内14か所の放課後児童クラブと連携し、地域ボランティアによる自然体験や、異学年の子どもとの交流や地域住民との交流事業等を実施している。 身近で気軽に参加でき、地域の教育力向上の場となっている。				

28 放課後児童クラブ運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	55,087千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	3
活動内容	保護者の労働等により帰宅できない小学校児童に対し、放課後、土曜日、長期休暇等に、家庭に代わって安全な生活の場と遊びの場を確保する学童保育で、児童の健全育成を図る。				
点検・評価	鷹巣地区6クラブ、合川4クラブ、森吉2クラブ、阿仁2クラブ、計14か所に開設。登録児童数は、鷹巣地区228人、合川地区167人、森吉地区125人、阿仁地区34人、計554人となっている。 年々加入率が増加しており、共働き世帯等にとって必要不可欠な事業となっている。				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

29 学校支援地域本部事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	2,336千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	<p>国・県の補助事業で、小学校5校、中学校2校の計7校が実施している。地域の個人の持つ特技や経験をより多くの学校教育現場で活用し、地域ぐるみで子どもたちを育むことで住民の生き甲斐づくりへつなげ、ボランティア支援の拡大を図りながら、地域全体の教育力を向上させる。</p>				
点検・評価	<p>各学校の協力を得ながら、より多くの地域住民が学校行事等への支援に参加した。環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、伝承芸能、ふるさと学習、読み聞かせ活動等、様々な活動を展開した。</p> <p>実施校は鷹巣東小学校、綴子小学校、鷹巣中央小学校、前田小学校、合川小学校、鷹巣南中学校、合川中学校。</p> <p>学校の実情にあわせたきめ細かな支援活動を実施し、地域と学校との連携がより強化された。</p>				

30 成人式事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	854千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>市全体で新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことの自覚を促し、自らの強い意思と責任をもって生き抜くよう激励する。</p>				
点検・評価	<p>新成人を祝福し、激励する式典を挙行し、市内在住者だけではなく市内中学校卒業者を対象とすることで、故郷を離れた新成人が郷土の良さを見直すきっかけにもなっている。</p> <p>成人者が積極的に成人式の準備にかかわるよう、呼びかけや取り組みを継続し、若者の交流の機会としても捉えていく必要がある。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

31 高齢者教育事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,024千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	高齢者の「生きがいづくり」につながる学びの場を提供し、仲間との交流を通じた学習活動を支援する。				
点検・評価	<p>市内4地区にある高齢者大学では、各種講座や移動研修、クラブ活動などを通して、楽しみながら学びや交流の輪が広がっている。</p> <p>また、学んだことの発表の場や交流の場は、新たな生きがいや新しい自分の発見に繋がるとともに、学びの継続と学んだ成果を他のボランティア活動に生かせるよう推進に努める。</p>				

32 日本語教室事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	462千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	外国から嫁いできている方々等を対象に、日常生活が円滑に出来るように日本語指導教室を月3回程度開催している。				
点検・評価	定住するうえで必要不可欠な日本語の実践能力を向上させるため、参加者のレベルに合わせ3コースを設定し、講師と指導ボランティアが細かな指導を行っており、その成果で生涯学習事業への参加もみられ、地域とのつながりも出てきている。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

33 公民館講座開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	5,717千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	<p>公民館を拠点として各種講座を開催することにより、気軽に学習しながら知識及び技術を習得し、自主的に学ぶ意欲を向上させる。</p> <p>各種サークルへ活動の場を提供し、作品展示や発表の支援を行うことで学習意欲の向上や地域の仲間づくりや交流を図る。</p>				
点検・評価	<p>公民館ごとに事業が展開され、身につけた知識や教養を「生涯学習フェスタ」、「文化交流のつどい」等で発表するなど、順調に学びの成果がみられた。</p> <p>環境・エコ・ボランティア活動などをテーマにした講座や、家庭教育支援につながるアウトドア事業などを実施し、地域の課題学習にも取り組んでいる。</p> <p>また、中央公民館では「第3回生涯学習フェスタ」を開催し、公民館を利用している自主サークル・学校支援地域本部事業の活動紹介や実演など入場者参加型の多彩な内容を盛り込み、参加者も多く好評であった。</p> <p>今後も知の循環を目指した協働活動を推進するため、親子で地域活動に参加する取り組みや、「北秋田市チョコボラ・プロジェクト（チョットと公民館でボランティア）」を継続しながら、地域課題を解決するための時代のニーズを的確に把握し、世代間交流をしながら誰でも参加することのできる事業の展開を推進する。</p>				

34 婦人学級開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	139千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	<p>地域で活動する団体へ学習支援・援助を行う。</p>				
点検・評価	<p>鷹巣地区の17婦人学級のうち、5学級で8学習会を開催。内容は、ひな祭りにちなんだ料理教室のほか、軽スポーツ、手芸、環境・エネルギー問題等各婦人学級の課題に沿った学習会を開催した。</p> <p>年々高齢化や会員減などにより、学習会開催が少なくなってきたことが課題となっている。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

35 花いっぱい運動推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	410千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	花の美しさは人の心に潤いを与え、花いっぱい運動の輪は和やかな生活と明るい社会を築くうえで大きな役割を果たす観点から、花いっぱい運動推進協議会への助成を行い、市全体へ運動の拡大周知を図る。				
点検・評価	協議会の主催する「花だんコンクール」には婦人会や高齢者グループなど、6個人、17団体計23件の応募があった。 参加団体数は横ばいであるが、花を育てることにより心を豊かにする運動として、市内全域での取り組みを呼びかけていきたい。				

36 公民館改修事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	6,981千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	各公民館施設が老朽化しているため、年次的に修理工事を実施するものである。				
点検・評価	今年度は、音響設備の整備や備品の更新、七座公民館では入口スロープの工事を実施し、利用環境の向上が図られた。				

37 陶芸ハウス運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	2,646千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活動内容	市民の陶芸作品等の創作活動を支援する。				
点検・評価	鷹巣陶芸教室が労働福祉会館に移転のため、施設の改築工事が行われた。作品等の創作活動は、ひまわり陶芸ハウスを中心に行った。 今後、幅広く市民が参加できる利用方法や、窯の更新など検討が必要である。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

38 あいターミナル運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,215千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	1	2	4
活動内容	駅舎及び観光などの複合的な施設であるが、公民館では情報通信教育として「パソコン教室」をくまげらネットの協力を得て事業継続している。				
点検・評価	くまげらネットの協力により、新パソコンの導入で講座を開催することができた。 管理人がいないため、合川公民館で対応しているが、内陸線関係者、商工観光担当などと建物全体の活用検討が望まれる。				

39 文化振興事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	60,588千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	伊勢堂岱遺跡について、環境整備を実施するとともに、平成27年度の世界遺産登録に向けて準備を進めている。また、第7回民俗芸能大会を開催し伝承活動の支援を行った。 文化財の利活用と啓蒙周知活動として、指定文化財の建造物の見学会を実施した。				
点検・評価	伊勢堂岱遺跡について、環境整備として石の保護や遺跡の盛り土等を実施した。また、第12回縄文祭りを実施し、縄文文化や体験活動に親しみ、世界遺産登録推進に弾みをつけた。 文化財の見学会では、4回目となる「建造物巡りバスツアー」で約25人の参加があり、文化財保護の関心が高く継続が望まれる。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

40 図書館(室)事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	13,091千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>地域住民への利用サービスと、多様化する情報を的確に捉え、資料の収集・整理・保存に努めた。また、市内図書館・図書室の連携を図るとともに、県立図書館等との相互協力により利用者のニーズに応えながら読書活動を推進する。また、図書館ボランティアと連携を取りながら、読み聞かせ等の活動により児童生徒の読書活動を推進する。市内図書館・図書室のネットワーク化による各館相互の連携をとり、蔵書を充実させながら利用者の要求にも迅速な対応を図る。書架棚のディスプレイ等の整備や閉架書庫の設置により館内の環境の向上を図る。</p>				
点検・評価	<p>県立図書館・市内図書館・図書室等と相互協力を図り、住民の学習や必要な情報提供に努め、利用の促進につながった。</p> <p>また、鷹巣図書館のボランティア「たまたまばこ」が毎月1回のペースで子供たちに読み聞かせ会を実施し、低学年の読書活動の向上に努めた。</p> <p>市内図書館のネットワーク化により連携と迅速で正確な管理運営ができた。図書資料について、図書館協議会や利用者から意見をもらい充実に努めた。今後も県立図書館の指導を受けながら、PR活動や利用者サービスを十分考慮した図書館運営を進める。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

41 文化会館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	41,847千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	自主公演事業を開催し、市民が気軽に芸術文化に触れる機会の充実に努める。また、施設の老朽化に伴い、修繕等の緊急性の高いものから順番に修繕、工事を実施し、建物の維持管理に努める。				
点検・評価	<p>館内の各種修繕及び照明卓改修工事等を実施した。これらにより舞台の照明操作が改善された。しかし、未だ損傷や経年劣化による改修必要箇所が多数あり今後も継続対応していく必要がある。</p> <p>自主公演事業では、音楽公演やシネマ鑑賞、民謡、演劇など、より親しめるイベントなど集客に努めた。また、市の文化祭の開催や市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。</p>				

42 交流センター運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	27,277千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	自主的地域活動や団体等の研修及び会議等の場として広く利用されたほか、災害時の避難場所としても利用された。				
点検・評価	<p>会場の利用は、市内のみならず、市外者からの利用もあり、地域の活動の場として、大いに活用されている。</p> <p>施設に関しては建物、機械関係の老朽化が進み、今後緊急性の高いものから順に、修繕及び改修工事の必要がある。本年度は、避難所になっている関係により、エレベーターの改修工事を実施した。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

43 みちのく子ども風土記館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	415千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	故渡辺喜恵子氏の顕彰館として、また市民の芸術文化活動を支援する場所として利用されている。				
点検・評価	各団体の活動の場として多く利用され、芸術文化活動の拠点となっている。 一方、利用する団体が固定化されているため、今後より多くの市民や団体に利用してもらうようPRが必要である。				

44 浜辺の歌音楽館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	7,454千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	音楽博物館として成田為三氏を顕彰するとともに、浜辺の歌音楽祭、定期演奏会を実施し、芸術としての音楽に触れる機会の創出を図る。 また、関係資料の収集や整理を行い、博物館としての充実を図る。				
点検・評価	浜辺の歌音楽祭では、毎年児童・生徒、一般の合唱団員の協力を得て、それぞれの素晴らしい合唱コーラスに好評を得ている。 第86回定期演奏会では、加登萌々子氏のバイオリンコンサートを実施し、入場者からも好評価であった。 音楽館として「成田為三に関連した本物の音楽に触れる機会の創出」という路線は継続していきたい。 平常の入館者数は年々減少傾向にあり、音楽博物館として資料の充実に努めていきたい。				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

45 薬師山スキー場改修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	3,780千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	4
活動内容	薬師山スキー場の第1リフトの老朽化に伴い改修工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>第1リフトの改修工事において、当初は全てを新しい物にする予定であったが、メーカーからの提案により、一部を再利用したリニューアル工事を実施し、支出が大幅に押さえられた。また、改修工事を実施したことにより利用者の安全と利用環境が改善された。</p> <p>第2リフトを平成22年度に更新し、第3リフトは故障中であるが使用者が少ないことから使用を中止している。</p> <p>今後、圧雪車が25年経過（1987年11月製造）していることから、更新が必要になる。</p>				

46 中央公園野球場改修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	4,358千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	中央公園野球場の本部棟の腐食に伴い塗装工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>本部棟（鉄骨柱・アルミサッシ・球場側中央外壁）・本部棟観覧席（床・手すり・階段）及び防球ネット支柱・ダグアウト両脇ネット受け支柱の塗装工事を実施し、利用者の安全と利用環境が改善された。</p> <p>今後、外野フェンスのコンクリート補強及び外野フェンスラバーの塗装補修が見込まれる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

47 合川野球場改修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	2,779千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	合川野球場の外周フェンスとスコアボードの破損及び腐食に伴う改修工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>外周フェンスは既存フェンスを撤去後、平成23年度中央公園テニスコート改修時に不用となったフェンスを再利用し改修工事を実施した。また、スコアボードの屋根と外壁（鉄骨以外）の取替補修後、付随する掲揚ポールと階段を含めて塗装工事を実施したことにより、利用者の安全と利用環境が改善された。</p> <p>平成25年度に、トイレ設置工事及び既存トイレ解体工事を予定している。</p> <p>また、今後外野フェンスの改修を予定しているほか、観客席の改修も見込まれる。</p>				

48 鷹巣体育館補修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	2,825千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	鷹巣体育館のステージ裏の廊下及び機械室の天井からの雨漏り、正面玄関脇の階段の天井からの雨漏りに伴い改修工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>機械室及び玄関屋根張替改修工事を実施し、雨漏りが解消されたことにより、利用者の安全と利用環境の改善が図られた。</p> <p>平成25年度に、地下タンクを廃止し陸上タンク設置工事を予定している。</p> <p>また、建築から39年経過し、施設が老朽化しており、非常用照明灯取替改修、サブ体育館連絡通路屋根葺き替え補修、体育館正面側軒天張替改修、サブ体育館西側外壁上部張替補修が急務となっている。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

49 北秋田市体育協会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	1,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	協会の円滑な活動・運営のために補助金を交付し、スポーツ振興を図る。				
点検・評価	<p>北秋田市体育協会に加盟する24団体への強化普及・育成支援により地域スポーツの活性化が図られた。また北秋田市スポーツレクリエーション大会、北秋田市スポーツ賞表彰式を主催し、市のスポーツ振興を図るうえで重要な役割を果たした。さらに、大会運営及び国体出場選手への支援により、地域スポーツの振興に貢献した。</p> <p>今後も市のスポーツ振興のために、事業の継続が望まれる。</p>				

50 北秋田市スキー大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	1,900千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市スキー大会実行委員会が実施するスキー大会開催のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>第65回大館・北秋田中学校スキー大会（36人）、第58回北秋田学童スキー大会（217人）、第6回北秋田市民スキー大会（301人）、第48回大館北秋田スキー米内沢大会（45人）を開催し、スポーツの振興及び青少年の健全育成が図られた。</p> <p>今後、大館・北秋田中学校スキー大会の運営について、協議が必要と思われる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

51 100キロチャレンジマラソン大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	3,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、地域の活性化を図る。				
点検・評価	<p>第22回大会に、県内外から100キロの部に1,294人、50キロの部に414人、合計1,708人のランナーが参加し、秋田県始め、仙北市、北秋田市、上小阿仁村、自衛隊、警察、消防、企業、ボランティア（約2,800人）の協力により実施され、盛会裡に終了した。</p> <p>地域のイベントとして定着しており、経済効果とともに参加ランナー及び地域住民の交流と地域の活性化が図られた。</p> <p>今後も事業の継続が望まれる。</p>				

52 第33回県民歩くスキーのつどい補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	360千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	つどいの円滑な運営のために補助金を交付し、県民スポーツの振興に寄与する。				
点検・評価	<p>県内の幼児から高齢者までの参加者248人、大会役員55人により実施され、天候により1kmコースのみの使用となったが、それぞれのペースで北欧の杜公園の自然と歩くスキーを満喫した。</p> <p>冬季の体力づくり及び地域の活性化が図られた。</p>				

53 夏井昇吉旗争奪柔道大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	108千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>合川体育館を会場に毎年開催している第19回夏井昇吉旗争奪全県選抜柔道大会に、中学校男子団体27チーム、中学校女子団体14チーム、市内のスポーツ少年団3チームの合計44チームが参加し、競技のレベル向上と地域の活性化が図られた。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

54 北秋田市スポーツ少年団補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	189千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	団活動のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>登録されている23団の活動育成支援、本部登録者29人・指導者137人・団員772人の各種研修会参加支援及び指導者、育成母集団研修等の活動支援により事業が円滑に運営され、青少年の健全育成が図られた。</p> <p>今後、北秋田市スポーツ少年団の社会体育化に伴い、団数の増加や事業内容の拡大が見込まれる。</p>				

55 北秋田市・上小阿仁村ミニバスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	90千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	合川体育館を会場に、毎年開催している第7回大会に北秋田市と上小阿仁村から小学校9チームが参加し、青少年の健全育成と競技レベルの向上が図られた。				

56 全県選抜高等学校柔道大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	180千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	森吉総合スポーツセンターを会場に、平成10年より毎年開催している第51回大会に21校、第15回全県選抜高等学校女子柔道大会に10校が参加し、競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

57 北秋田市民水泳大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	100千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	北秋田市民プールを会場に、昨年から北秋田市地域の水泳競技の普及と水泳の底辺拡大を図ることを目的に開催された第2回北秋田市縄文水泳競技大会に、市内外から191人が参加し、競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。				

58 小・中学校招待バスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	108千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	合川体育館を会場とし、毎年開催している平成24年度北秋田市・北秋田郡中学校新人バスケットボール大会に、中学校男子2チーム・中学校女子4チーム、第18回合川招待女子小中学校バスケットボール大会に、小学校ミニバス8チーム・中学校女子招待校6チームが出場し、競技のレベル向上及び地域の活性化が図られた。				

59 第36回全県選抜高校女子ソフトボール選手権大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	135千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	米代川河川緑地ソフトボール場を会場とし、平成7年より毎年開催している第36回大会に8校が参加し実施されたが、大会2日目に予定していた決勝戦と三位決定戦は雨天のため中止とし、優勝2校、三位2校とした。 この大会を通して競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

60 第39回東北総合体育大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	400千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	1	1
活動内容	秋田県が開催県となった東北総合体育大会のフェンシング競技を開催運営するための補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>合川体育館を会場に開催された平成24年度国民体育大会東北ブロック大会兼第39回東北総合体育大会フェンシング競技（監督・選手66人）への開催支援を行い、東北地区のスポーツ振興・競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。</p> <p>6年に一度、秋田県にて開催される大会であり、競技会場が市内に決まった場合の事業である。</p>				

61 第39回日独スポーツ少年団同時交流補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	376千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	1	1
活動内容	日独スポーツ少年団同時交流事業の地方プログラム（東北Iブロック：秋田・岩手・青森：7/27～8/8）の秋田（7/27～31）において、北秋田市の青少年や市民がドイツユースとの交流活動のために補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>第39回日独スポーツ少年団同時交流事業において、ドイツ団より指導者1人・団員6人・通訳1人を受入、ホストファミリー7家族をはじめとし、秋田北鷹高等学校、北秋田市実行委員会を中心に民泊プログラム、スポーツ・文化交流、体験プログラムを実施し、日独両国の友好と親善が図られた。</p> <p>毎年開催されている事業ではあるが、北秋田市では平成8年の森吉町以来、16年ぶりの受け入れとなった。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大